

学会ニュースNo.107 トピックス

- ・2013年度(第68回)総会・研究発表大会のご案内
- ・2013年度立正地理学会評議員会のお知らせ
- ・第42回講演会報告
- ・地理学教室だより
- ・2012年度卒業予定の学生会員の皆様へ
- ・地理写真展作品の募集
- ・会費納入のお願い

会 告

○2013 年度(第 68 回)総会・研究発表大会のご案内

2013 年度(第 68 回)総会・研究発表大会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日時:2013 年 6 月 1 日(土)9:00(予定)より
2. 会場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A205 教室(予定)
(当日、校内に案内を掲示いたします)
3. 総会委任状について
総会委任状は次号の学会ニュースに同封します。
4. 昼食
学生食堂が営業しております。
5. 懇親会
 - 1)会場:立正大学熊谷校舎学生食堂(ステラ)
 - 2)会費:一般 4,000 円、学生 2,000 円(予定)
 - 3)時間:17:00~19:00(予定)
6. 発表申込について
 - ・発表希望者は、3 頁の発表申込用紙に所定事項を記入の上、2013 年 4 月 19 日(金)までに集会委員会宛に送付して下さい。
 - ※メールでも受け付けております。申込用紙と同内容を記載して次のアドレスまでお送り下さい。アドレス:geosoc@ris.ac.jp
 - ・発表の形式は口頭発表とポスター発表です。このほかに地理写真の展示があります。いずれかを選択して下さい。
 - ・口頭発表は発表時間 15 分、質疑応答 5 分の合計 20 分です。
 - ・ポスター発表の場合は、1 分程度の口頭による内容紹介を行っていただきます。
 - ・ポスターは A0(短辺 841mm, 長辺 1189mm)サイズです。
 - ・発表要旨集は作成しません。発表者は必要に応じて発表資料を用意して下さい。

- ・パソコンと液晶プロジェクターはこちらで用意します。プレゼンテーションソフトは Windows 版 PowerPoint2010 です。Windows で読み込めるフォーマットで USB フラッシュメモリーに保存して、当日会場へご持参下さい。Mac をご使用の場合は予めご連絡願います。
- ・研究発表者は、研究発表要旨を必ずご提出下さい。研究発表要旨は『地域研究』に掲載いたします。『地域研究』の執筆要項にしたがってご執筆の上、大会当日に編集委員会までご提出下さい。

7. 研究発表大会プログラム・会場案内について

研究発表大会プログラム・会場案内については、次号学会ニュース(2013年5月発送予定)、ならびに学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp/>)に掲載いたします。

8. 展示について

例年、地理関係出版社の出版案内や図書販売がおこなわれております。個人向けの展示スペースも確保しておりますので、地図等の展示を希望される方は、集会委員会までご照会下さい。

○地理写真展作品の募集

今年も立正地理学会総会・研究発表大会と同時に、地理写真の展示を開催いたします。会員諸氏が自ら撮影し、地域の特徴をよくとらえていると思われる写真の出展をお願いいたします。

出展者は2013年4月19日(金)までに2頁の地理写真展申込用紙に所定事項を記入の上、集会委員会宛に送付して下さい。※メールでも受け付けております。申込用紙と同一内容を記載して次のアドレスまでお送り下さい。アドレス: geosoc@ris.ac.jp

作品は、以下の様式にしたがって作成したものを持参し、大会当日に所定の場所へ展示願います。また大会終了後は、各自でお持ち帰り下さい。

【地理写真展 様式】

・A1(594×841mm)の台紙をタテに使用して下さい。

※1 写真の大きさ・枚数・貼り方は自由です。

※2 キャプションには、内容・場所・撮影日時など、撮影時の状況を付記願います。

(作品例)

| | |
|-------------|------------|
| テーマ | |
| 氏名 (所属) | |
| 写真 (※1) | 写真 (※1) |
| キャプション (※2) | |
| 写真 (※1) | 写真 (※1) |
| キャプション (※2) | |
| 写真 (※1) | |
| キャプション (※2) | |

2013 年度 研究発表大会 発表申込用紙

| |
|--|
| ・発表者氏名・所属(共同発表の場合は、発表者に○印をつけて下さい) |
| ・発表題目: |
| ・発表形式(↓いずれかを○でかこんで下さい) 口頭発表 ・ ポスター発表 |
| ・連絡先 氏 名: 住 所:〒 — 電話番号: — — (自宅 ・ 勤務先) E-mail: |

2013 年度 地理写真展申込用紙

| |
|--|
| ・氏名(所属) |
| ・テーマ: |
| ・連絡先 氏 名: 住 所:〒 — 電話番号: — — (自宅 ・ 勤務先) E-mail: |

※申込用紙をコピーしてご利用いただくか、立正地理学会ホームページからファイルをダウンロードして下さい。

○2013 年度立正地理学会評議員会のお知らせ

2013 年度立正地理学会評議員会を下記の要領にて開催いたします。

記

1. 日時: 2013 年 5 月 31 日(金) 18:00 より
 2. 場所: 立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A610(会議室)
 3. 議題: 1. 2012 年度事業報告の件
2. 2012 年度決算報告の件
3. 2012 年度事業計画案の件
4. 2013 年度予算案の件
5. その他(他に議題のある評議員の方は、集会委員までお知らせ下さい。)
- 詳細については、次号ニュースにて評議員の方に同封する出欠ハガキをご確認下さい。

○第 42 回講演会報告

去る 2012 年 12 月 8 日(土)、第 42 回講演会が沖縄地理学会との共催で開催された。久留米大学の堂前亮平先生にご講演いただき、沖縄国際大学 5 号館 107 教室を会場とした本講演会には 130 名が参加し、大盛況であった。

今回は「沖縄における地理学の成果と課題」というテーマで執り行われた沖縄地理学会創立 30 周年記念公開シンポジウムの下、「沖縄における人文地理学の歩み」という演題でお話しいただいた。そこでは沖縄に関わる事象を研究対象とした人文地理学がいかなる変遷を辿り、またどのような研究の蓄積がなされてきたのかが説明された。

まず変遷過程の説明においては、対象時期が 4 期に区分された。第 1 期は第二次世界大戦以前、第 2 期は戦後から日本復帰まで、第 3 期は日本復帰からの 10 年間、第 4 期は沖縄地理学会の発足(1982 年)から現在まで、である。

それぞれの時期に注目すべき研究や事象があるが、そのなかでも特筆すべき点としては、第 1 期の明治 36 年から大正 4 年にかけて出版された『大日本地誌』(山崎直方、佐藤伝蔵編)の第 10 巻「琉球・台湾編」において、現在では取り扱われることが少なくなった政治的視点からの記述がある。第 2 期においては 1950 年の琉球大学の開学と同時に社会科学部史学及地理学科が設置されたこと、正井泰夫先生が宮古およびその周辺地域で調査をされたことが紹介された。第 3 期には歴史地理学や文化地理学などの研究が県外の研究者により進められ、また 1980 年 9 月に第 24 回国際地理学会議、沖縄野外研究会議が開催された。第 4 期では 1982 年の沖縄地理学会の発足、沖縄を対象とする地理学における研究分野の多様化が指摘された。また同時期には鹿児島県奄美地方を視野に入れた研究も進められたが、これは琉球弧という同地と沖縄が一体化した地域概念に基づく越県研究の必要性が高まったためである。

沖縄に関わる人文地理学研究の事例としては、1) 島嶼地域の歴史地理学、2) 沖縄に関わる社会空間の変容、という二つの視点から挙げられた。特に前者においては、『アホウドリと「帝国」日本の拡大』(平岡昭利著、明石書店、2012 年)が紹介され、尖閣と沖縄の関わりをみることで、尖閣と日本人の歴史的な関係性が見えてくることが指摘された。

蓄積されてきた沖縄に関わる研究を、それぞれの時代背景および時代の要請を踏まえて

解説していただき、大変に意義深い講演であった。地域研究を行う際に有効となる視点をもご提示くださった堂前先生に御礼申し上げます。

(集会委員 貝沼恵美)

☆地理学教室だより☆

2013年2月に行われた地理学科の卒業論文研究発表大会について報告します。

○第8回卒業論文発表大会を終えて

2012年9月26日(水)、1回目の卒論発表大会実行委員会が開かれ、各ゼミから選出された42名の委員が顔を合わせました。賞係、広報係、企画係に分かれて、毎月の実行委員会で入念な打ち合わせを行いました。

2013年2月7日(木)にはポスター展示、8日(金)は口頭発表とポスター発表が行われました。口頭発表は8名のゼミ代表者による、地域振興や土地利用変化、さくらんぼ生産や水害における避難行動など、さまざまなテーマに関する発表が行われ、1~4年生までの学生が真剣な眼差しで発表を聞いていました。さらにポスター発表では、北海道から沖縄県までを対象に、地形、水文、交通、都市、観光、食などの幅広いテーマにおける42名の成果がポスターに集約され、ポスター発表者は各自ポスターの前に立ち、学生や先生方へ研究について説明を行い、活発な質疑応答が行われました。

今大会では、新しい試みが2つありました。多くの学生に資格への興味を持ってもらうために、地理学科で取得できる地域調査士やGIS学術士、測量士補などの資格についてポスターを作成しました。また1~3年生の後輩たちが卒業研究を進める際の参考になるように、実際に利用した資料や機材・模型の展示などを行いました。これらは全て学生が主体となって、準備しました。学生をはじめ、多くの先生方のお力添えのおかげで、とても有意義な発表大会になりました。

学生が1年間取り組んだ卒業研究をぜひ会員の皆様も見に来て下さい。

(広報委員 小林千夏)



口頭発表の様子(伊藤徹哉会員撮影)



ポスター発表の様子(小林千夏会員撮影)

○今年度卒業予定の学生会員の皆様へ

この3月で卒業される学部4年生・院生の会員の方々には、来年度以降も会員として継続されることをお薦め致します。引き続き立正地理学会会員として、学会活動にご参加下さい。学会ニュースやホームページなどで、学会活動のほか、地理学教室の情報などを提供していきます。会員継続をぜひご検討下さい。

継続される方は、卒業証書授与式で配布する継続届けを記入の上、『地域研究』や『学会ニュース』に同封する払込取扱票にて5月末日までに会費をご納入下さい。他大学や大学院などに進学される方は学生会員(年会費2,500円)、それ以外の方は一般会員(年会費4,000円)となります。

○会費納入のお願い

2012年度分の会費が未納野方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下のとおりです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

| | |
|------------|----------------|
| 銀行名 | ゆうちょ銀行 |
| 金融機関コード | 9900 |
| 店番 | 019 |
| 店名(カナ) | 〇一九店(ゼロイチキュウ店) |
| 預金種目 | 当座 |
| 口座番号 | 0013453 |
| カナ氏名(受取人名) | リッショウチリガクカイ |

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際には、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

立正地理学会ニュース No.107

2013年3月21日発行 編集者 立正地理学会広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453